



6月と言えば高等部にとっては今年最初の「産業現場等における実習」の時期です。生徒たちは、GW明けから実習へ向けて、事前学習や実習先への挨拶、打合せなど、慌ただしく日々を過ごしながら、実習へ向けて気持ちを集中させていました。

「働くこと」を意識しながら日々を過ごすことは難しくても、様々な機会を捉えて、自分の将来について考えたり、挑戦したりすることで、少しずつ「働くこと」や「将来」を意識し、大人への階段を上っています。

今回は、そんな機会の一つである「進路講話」についてご紹介します。



ジョブカフェあおもりによる進路講話



「ハンバーガー!」どんな材料が使われていて、私たちが食べるまでに、どんな仕事(職)の人が関わっているのでしょうか?



パンを作るのはだれ? パンを作るための材料は? 小麦や砂糖など…小麦を作るのは農家。ではチーズは何からできているの? 牛乳…牛乳はどうやって作るの? 乳牛を育てているのは酪農家。その他にも一緒に注文するポテトや飲み物は…? ジャがいも、塩、ジュース、カップ、ストローを作る人、注文をとる人、お店の建物を作る人、電気を作っている人…。一つのものにもいろいろな人や仕事に関わっています。みなさんのまわりにはたくさんの働く人がいます。世の中は働く人だらけ — こんなお話から始まった進路講話。

産業現場等における実習をひかえた5月17日に、「ジョブカフェあおもり」さんからキャリアカウンセラーの蝦名由子氏を講師にお招きし、進路講話が行われました。貴重なお話をたくさんいただきましたので、紹介します。



ジョブカフェあおもり

15歳から44歳までの方が利用でき、キャリアカウンセラーによる個別相談やパソコンを利用した職業適性診断、各種就職支援セミナー、インターネットなどによる情報収集など就職活動を支援する様々なサービスが無料で利用できます。
アスパム3階にあります。

なぜ働くことについて勉強するの？

なぜ「働くこと」について勉強するの？と思うかもしれませんが、のんびりしていると、あっという間に3年生。時間が経つのは早いです。気が付くと3年生。卒業したら働かなければなりません。だから少しでも早いうちに働くことについて考えることが大切なのです。



なぜ、実習に行くの？

実は実習に行くといふことがたくさんあるのです。とてもお得なのです。

- ① どんな仕事か自分でやってみないと分からない。実際に仕事を体験することで、どんな仕事か、自分に合っている仕事かが分かります。
- ② 働いている人から、仕事で大変なこと、楽しいことなど話を聞くことができます。
- ③ 「好き・嫌い」や「得意・苦手」「できる・できない」が分かります。もし自分には難しい、できないと思ったら、また違うチャンスがあるのです。早い時期に知っておくとお得です。
- ④ 進路について考えるきっかけになります。

進路学習や実習の意義について、このように話されていました。また、働くために必要な力として、「マナーとは何かを知っておくこと」「報告・連絡・相談(ほう・れん・そう)」が大事です。

社会人としての基本的なマナー

- 時間、期限を守る
- 身だしなみをととのえる
- 挨拶は元気よく、心をこめて

マナーは、**みんなが気持ちよく過ごすためのちょっとした知恵や思いやり**のことです。そして、仕事先で好かれる行動は、「**元気よく返事や挨拶ができる**」「**身だしなみがきちんとしている**」「**分からないことはすぐに聞く**」「**自分から動く**」などです。まずは今の目標を立てる、できたら次

の目標…そうすることで、どんどん成長していけます。ご家庭でもいろいろな仕事や進路について話題にしてください。どんな仕事も必ず誰かの役に立っています。

